

令和7年9月26日

報道機関各位

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学

イノベーション政策研究センターのアニュアルレポート 2024 が完成しました

本学イノベーション政策研究センター（CIP）は、ヘルスイノベーション研究科をはじめとする本学が有する教育・研究上のリソースを駆使し、政策研究を行うとともに、その成果を実際の社会に実装していくことを使命とするシンクタンクです。

このたび、2024年度版年次報告書「Annual Report 2024」が完成いたしました。2024年4月から2025年3月までの各プロジェクトの活動報告を掲載しています。「アカデミアの力を、社会を動かす力に」を合言葉に引き続きさらに強力に活動を進めていきます。

【プロジェクト一覧】

- ・ **未病指標プロジェクト（神奈川県協働事業）**
神奈川県みらい未病コホート研究をデータ収集基盤として活用し、観察研究や介入実証研究を通じて未病に関わるイノベーションの社会実装を促進します。
- ・ **保健医療データ活用業務委託事業（神奈川県委託事業）**
自治体が保有する保健医療データの抽出・加工・分析や研修を通じ、自治体におけるデータを活用した証拠に基づく政策立案の実現を図ります。
- ・ **介入効果の高いサブグループ特定等を目的とした特定健診・特定保健指導の評価研究**
特定健診・特定保健指導に関するデータを用いて、生活習慣や行動変容ステージ等を考慮した解析を実施し、効果的な保健指導の実施に向けた分析を行っています。
- ・ **市町村における保健医療データ活用プロジェクト**
自治体における健康増進に関わる政策立案や事業評価のために、国民健康保険データの抽出・加工・分析支援や相談対応を行っています。
- ・ **東京都心部における就労女性の健康に係る調査研究**
男女ともに働きやすい環境の実現に向け、企業と連携して健康課題解決ツールを開発し、社会に還元するとともに、現場での利活用を推進しています。
- ・ **新型コロナウイルス・パンデミックの公衆衛生対策プロジェクト**
国や自治体のパンデミック対策の改善に資するため、独自の2次データの定量的分析、諸外国・国内自治体のガイドライン・対策の定性的な政策分析などを行います。
- ・ **予防医療教育プログラムの開発と評価プロジェクト**
生活習慣における個人の行動変容を促すため、演劇の手法を取り入れた健康教育プログラムを日本の文化に合わせて改善し、普及を進めます。
- ・ **ヘルスケア分野におけるイノベーションの推進施策の研究**
イノベーション・エコシステム形成に向け、必要となる機能の探索・実装やアントレプレナーシップ教育プログラムの開発・普及・分析等を進めます。

- ・ **神奈川県における健康の地域格差要因の解明**
県民の健康行動（運動、食習慣、喫煙）や健康関連アウトカム（肥満、高血圧等）の市町村間の差異などを検証し、健康の地域格差要因の解明を図ります。
- ・ **eスポーツによる介護予防効果の検討**
地域在住高齢者に対してeスポーツに着目した介護予防プログラムを提供し、行動変容及び身体・認知機能への効果検証を行います。
- ・ **福祉の科学化に関する探索的な研究（介護現場における生産性向上に関する探求）**
介護ロボット・介護機器の導入による生産性向上への寄与を、定量的かつ定性的に検証し、現場における技術導入の指針となるエビデンスを創出します。
- ・ **福祉の科学化に関する探索的な研究（福祉における支援者支援のあり方に関する研究）**
サービス提供者である支援者の負担の可視化とエンゲージメントの実態把握を図るとともに、その負担の軽減策の検討を行います。
- ・ **地方公共団体による公立病院への財政資金投入とアウトカムに関する研究**
公立病院の経営状況に着目し、運営・維持に要する税金等の資源投入と、得られる成果等について解明するとともに、資源投入のあり方について考察します。



問合せ先

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学

ヘルスイノベーションスクール担当部長 和田

電話 044-589-3312 shi-press@kuhs.ac.jp

【注目のプロジェクト①：未病指標プロジェクト（神奈川県協働事業）】

未病指標プロジェクトは、神奈川県と神奈川県立保健福祉大学が協働で実施する予防医療推進事業です。病気と健康の中間状態である「未病」を数値化し、効果的な健康施策の立案・実施を支援することを目的としています。

2024年度は、横浜市若葉台地区で地域NPOと連携し「地域モニタリングスポット」を設置しました。住民が日常的に健康状態を把握できる環境を整備し、歩行速度測定装置の簡便化により高齢者でも容易に利用できる仕組みを実現しています。また、健康診断データに加えて音声分析による健康評価など、3種類の詳細な未病指標の実用化検討を進め、従来では把握困難な微細な健康変化の早期発見を可能としました。

本事業の特徴は県・市町村・大学の三者協働体制です。データ分析リソースに限られる市町村に対し、大学が技術支援を提供し、未病指標を活用した住民健康データ分析結果を各自治体の保健事業に還元しています。これにより、科学的根拠に基づいた効率的な住民サービス提供が可能となり、限られた予算での効果的な健康施策立案を実現しています。



＜設置された測定スポット＞

【注目のプロジェクト②：保健医療データ活用業務委託事業（神奈川県委託事業）】

県内33全ての市町村から、国民健康保険・後期高齢者医療制度に関わる医療データや特定健康診査・特定保健指導に関する250万人以上、1万ファイルを超える大規模なデータをお預かりし、本学において集計・解析を行っています。これらの解析を通じて、県内における医療費の現状や特定健診の結果などについて市町村間比較を実施し、市町村に提供しています。特に医療費適正化に向けた糖尿病重症化予防の観点から実施する分析では、市町村別・二次医療圏別などに分析結果レポートを作成しています。

また、このようなデータを行政の現場で政策立案・政策評価に生かすためには、様々な知識やスキルが求められることから、保健福祉事務所や市町村の健康増進・国保部門担当者を対象とした研修会を開催し、データ活用のための基礎的なスキルから、分析結果の見える化のための手法などについて、実際にPCに触れて演習に参加できる講義を提供しています。

主催：神奈川県 健康医療局 保健医療部 医療企画課

11月26日(火)・12月2日(月)
10:00～16:30 連べる2日程！

対面研修

健康づくりのためのデータ活用研修
データに基づく事業評価

- 開催場所：神奈川県立保健福祉大学横浜キャンパス（二俣川）
(アクセス: <https://www.kuhu.ac.jp/access/tyokohama>)
- 参加対象者：県市町村データ活用担当者等
(保健師等専門職、事務職問わず保健事業の研修にお困りの方)
- 申込み定員：各日40名 (お早目にお申し込みください)

事業の目標と実績の進捗を分析し、次に活かせる事業計画を、学びましょう。

プログラム

午前の部は基礎的な内容、午後の部は応用的な内容となっていますので、どちらか一方の参加も可能です！

セッション	テーマ	内容
午前の部：分析の基礎、データ活用の素材		
座学1	なぜデータ分析を行う必要があるのかを理解する	行政におけるデータ分析の基本的な考え方を学びます データに基づく保健医療事業の実施の必要性について民間の事例をふまえて改めて考えます
座学2	分析に活用できるデータ	e-Statなど、分析に用いることができる基本的な統計を紹介し、県内の保健衛生統計やKID集計データなど、地域分析等に役立つデータの活用について紹介します
演習1	エクセル基礎講座	エクセルの基本的な操作から、IFやVLOOKUP等のデータ分析に役立つ実践的な関数の使い方を学びます クロス集計等に役立つピボットテーブルの使い方の基礎を学びます
午後の部：分析演習・ワークショップ		
演習2	データ分析・活用演習	事例に基づいて、ピボットテーブルを用いたデータ分析や、分析結果のグラフの作成などを、実際のデータに題材ながら学びます (演習テーマ：(仮)：健診or検診の受診率の推移及び層別)
演習3	グループワーク	グループに分かれ、演習2で作成した資料について、グループ内で共有し、データの活用目的、見せ方の大切さについて議論します
座学3	保健医療データ活用によるEPRに向けて	保健医療事業におけるデータ分析の重要性や、県の取り組み、今後の展望について、県担当者から学びます

対面研修での学習や、ネットワーク作りから得るものは大きいです。ぜひ大学講師や他市町村の担当者と直接対話し、疑問やアドバイスのやり取りをしてみてください。

お申し込みはこちら >>>>>
申込期間: 2024年11月18日(月)

メールのお申し込みを受け付けております。
事務局に届いたメールアドレスのみにの上、下記までお問い合わせください。

メール: ci@kuhs.ac.jp

神奈川県立保健福祉大学
インフォメーションセンター

エクセル操作に自信がなくても参加できそう

他の自治体の方と意見交換できるのも貴重ですね！

<https://www.kuhu.ac.jp/office/0110301>


